

令和4年6月9日（木）

おはようございます。

令和4年度が始まって、2か月余りが過ぎ去りました。1年の皆さんは、ようやく飯山高校にも慣れ、自分のペースで学校生活を送れるようになる頃ではないかと思います。また、2・3年は新たなクラスにも慣れ、各々の目標に向けて、進み始めてくれているのではないかと思います。

県総体に参加した生徒の皆さん、お疲れ様でした。皆さんが何か一つ「やり切った」と感じていてくれれば嬉しく思います。

さて、香川県内では新型コロナウイルス感染者数が徐々にではありますが減少傾向にあります。しかし、まだまだ予断を許さない状態が続いています。そのような状況の中、総合学科3年次生は進学或いは就職へ向けて、自分の人生の中での大きな決断を迫られる時期を迎えます。1・2年次生も、選択科目や系列の選択をしなければならない大切な時期となります。また、看護科の皆さんは、看護に関する専門的な内容を理解することに追われたり、臨地実習に向けての学習に時間を費やしたりと多忙な時期を迎えていることと思います。人は、先が見通せなかったり、明確な目標が持てなかったり、何かをするにも自信がなかったりすると目の前の一步を踏み出せないことがあります。また、余裕がない時には、目の前の現実から逃げ出したくなることもあります。そして、そのような状況に陥っている人は、得てして、他人と自分を比較して「自分はダメだ」とか「自分だけがこんな状況だ」と思い込み、全てにおいて「後ろ向き」な考えになってしまうことがあります。周囲の人と考えが違っていても、それは、人には思いつかないことを自分は思いついたと考えれば、悪いことではないし、前向きになれたりします。**焦らず、慌てず、諦めず、かつ、周囲の人と比較せず、自分としっかり向き合おう！**「自分は何が好きなの？」ではなく、「何を**すること**が好きなの？」とか、「自分の目標は何か？」ではなく、「自分の目標は何を**すること**か？」というように、「**こと**」ではなく「**すること**」—**動詞で考えるとより具体的に自分のことを理解できるのではないのでしょうか。**

皆さんの前には、これなら大丈夫と進むべき明確な道が用意されていることはありません。今しかできないこと、今しか考えられないことにしっかりと向き合いましょう。そして、様々な人に相談しながら、最後は自分で決めて、進んでいきましょう。それが皆さんの進むべき道となるはずです。

最後に、詩人であり、彫刻家・画家でもある 高村光太郎の詩を紹介します。

皆さんは、高村光太郎と言えば、中学校で『智恵子抄』『レモン哀歌』という詩を学習したかもしれません。

今から、紹介する詩は、道のりという意味の「道程」という詩です。

僕の前に道はない
僕の後ろに道はできる
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた廣大（こうだい）な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ
常に父の氣魄（きはく）を僕に充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

これから、しっかりと**自分の道**を歩んで行きましょう。

以上で、終わります。ありがとうございました。